

令和4年度 教育目標及び指導の方針と重点

学校経営

教育目標

知・徳・体の調和のとれた将来有為な人材の育成

方針

<めざす学校像>

地域に信頼される学校

重点

1 学校運営の重点（自立力・共生力・自己実現力）

- (1) 地域社会人の育成を目指し、是々非々の指導を徹底しながら、生徒の個性を認めて伸ばし、自尊感情を育成する指導により生徒の成長を促す。
- (2) ICTの活用や指導のスリム化を進め、各組織が機能的に連携し、指導の効率化を目指す。
- (3) 地域に根ざし地域と連携した、安心安全で特色ある学校づくりを推進する。
- (4) 学校の抱える課題解決に向けて、関係機関や外部人材、地域の力を積極的に活用する。

2 学習指導・教科指導等の重点

- (1) 授業の充実・授業改善 — 生徒が意欲的に取り組める授業の推進
 - ア 全ての（学習に困り感を持つ）生徒に分かる授業—「授業のユニバーサルデザイン化」
 - イ 生徒の実態に合わせた「主体的で対話的な深い学び」の展開
 - ウ ICT機器活用の研究と推進 — 「1人1台タブレット端末環境」を活かした授業
 - エ 規律の徹底と質的向上 — 落ち着いた雰囲気の中での効果的な授業
 - オ 新学習指導要領に基づく新たな教育課程の編成と評価の在り方についての研究
- (2) コミュニケーション能力の育成
 - ア 演劇表現ワークショップやキャリア教育プログラムでの学習成果の活用
 - イ ICT機器活用とふるさと教育の充実による生徒の思考力・表現力を養う授業の推進
 - ウ 少人数コミュニケーション講座における指導法他教科への活用
- (3) 外国につながる生徒等への支援 — 各学年に国際クラスを設置し日本語の習得を強化
 - ア 外国につながる生徒に対する組織的指導の充実と多文化共生の学びの場の創出に関わる研究
 - イ 国際クラス、学校設定教科「日本語」及び「特別の教育課程」に関する研究の推進
 - ウ 外国につながる生徒の特長（語学力等）を生かした外部発信・地域との連携
- (4) 進路希望に合わせた7類型の充実
 - ア 類型の特色ある運用と実態に応じた編成の見直し

3 生徒指導・特別活動指導の重点

- (1) 実社会で通用し、地域に信頼される人間の育成
 - ア 全職員の共通理解に基づく規範意識・道徳性・人権感覚を涵養させる指導
 - イ いじめ防止指導・情報モラル教育の充実
- (2) 生徒一人一人を大切にすする支援
 - ア 生徒一人一人の理解に基づき、人権等に配慮した支援の展開
- (3) 自己有用感と思いやりの心の育成
 - ア 自らの個性に気づき伸ばす力と他者の個性を認め共生する精神の醸成
 - イ 生徒会活動・部活動・ボランティア活動の推進

4 進路指導の重点

- (1) キャリア教育の推進
 - ア 勤労観・職業観の育成 — 各学年の進路課題に対する三年間を見据えたガイダンス事業の展開
 - イ 個性を活用し、進路課題を解決する力の育成—キャリア教育プログラムの充実
 - ウ 進路目標実現に向けてのスキルの習得 — 進学・就職指導の充実（外部人材の活用）
- (2) 学力の向上 — 基礎学力の定着、卒業後の進路を見据えた指導
 - ア 授業を軸にした学習指導 — ドリル等の活用による基礎学力定着
 - イ 進路意識や学力を高めるための個に応じた指導 — 補習・外部模試・朝学習等の活用